

湘南慶育病院

榊原 時生(リハビリテーション部 理学療法士 入職4年目)

功 績 榊原は2022年7月23日?24日に開催された、日本基礎理学療法学会主催の、「第6回 基礎理学療法学 若手研究者ネットワークシンポジウムにおいて、(2年連続で)若手優秀賞に選出された(本年度演題目:スマートフォンカメラを用いた上肢運動課題の動作解析への試み)。研究活動と学会発表を通じて、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献した功績。

推 薦 者 久保 雅昭(リハビリテーション部 部長)

推 薦 理 由 当院リハ部の榊原時生(理学療法士)が、日頃の臨床実践での研究疑問を大切にし、大学教員や上司の指導を受けながら、日本基礎理学療法学会主催の若手が集まる「若手研究者ネットワークシンポジウム」において、(昨年度に引き続き2年連続で)若手優秀賞に選出されました。当院での実践が、学術的な知見として貢献したこと、また、当院の知名度向上にもつながった事は理事長賞に値するとし推薦いたします。

内 容

当院リハビリテーション部の榊原時生(理学療法士 4年目)が、多くの若手研究者が集い、研究計画に関する討論や研究テーマの探索がなされる「若手研究者ネットワークシンポジウム(日本理学療法学会主催)」において、(昨年度に引き続き2年連続で)若手優秀賞に選出されました。

演題目:スマートフォンカメラを用いた上肢運動課題の動作解析への試み

脳卒中患者の上肢機能評価について、動作の質を評価するために、動作解析の必要性が指摘されていますが、動作解析装置は高価で準備に時間を要する等の問題が挙げられており、臨床現場で普及しない背景があります。本演題では、手先に1点のカラーマーカを貼付し、スマートフォンカメラ一台で撮影するという、従来のモーションキャプチャシステムを用いた動作解析方法と比較しても、特段簡易的な手法で動作の質的な評価が可能であることを示しました。これらの研究結果が、有用な知見であることが認められ、この度、若手優秀賞を受賞することとなりました。